

# 在宅ホームサービス業界ホームケアワーカー COVID-19 の要件

このドキュメントは在宅ケア業界、特に、ホームケアワーカーに適応されます。このドキュメントが意味する在宅サービスワーカーとは、1人以上の雇主から報酬を受けて、在宅医療従事者として個人の家で、その個人又は世帯のメンバーにホームケアサービスを提供する人と定義付けします。在宅サービスワーカーには、時間給、サラリー給、個人労働を提供する独立請負業者、フルタイム、パートタイムワーカー、および臨時ワーカーが含まれます。雇用主としては、ホームケアワーカーとしてサービスを提供するために在宅ワーカーに直接または間接的に報酬を支給する雇用組織、個人、世帯、および雇用者（たとえば、直接サービスを提供する雇用機関やネット企業を等）も含まれます。複数の雇用者がいる場合、この要件は夫々の雇用者/従業員との雇用関係に適用されます。

他の在宅ワーカーは、知事の宣言 20-05 の下で自らの仕事が必須であると定義されていなかったため、[個別のガイドライン](#)が適応されています。ホームケアワーカーとは、個人宅内またはその周辺で、機能障害を持つ人々、病気、高齢者、またはその他サポートを要する人にパーソナルケアサービスを提供し、食事、入浴、着替えなどの「日常生活の活動」をサポートする人々のことを指します。ホームケアワーカーは、日常生活の活動をサポートすることに加えて、個人がコミュニティで独立して生活できるようにする「日常生活の道具的活動」を提供することもあります。ホームケアワーカーには、[RCW 18.88B](#) の下で州の Department of Health によって認定された労働者が含まれますが、これに限定されません。

ホームケアワーカーによって行われる仕事は、知事の宣言 20-05 の下で不可欠であると考えられたため、COVID-19 パンデミックを通じて多くのサービスが引き続き実施されています。雇用主と個々のホームワーカーは、以下に文書化されているように、健康と安全の要件に従う必要があります。

一人のワーカーに対して要項のすべてが不適合であれば、雇用主は要項に従う必要はありません。

在宅サービス業界のワーカーは、仕事を拒否したり、有給の病気休暇を取ったり、失業手当を受給したりすることが極めて限られていることが認識されています。雇用状況を鑑み、雇用主はワーカーが自らの職を保護することに限度があることを認識しておく必要があります。

## **安全と衛生要件**

すべての在宅サービス業界の雇用主は、州および連邦の法律と規則に従って安全で健康的な職場を維持する基本的な義務を負っています。さらに、州知事の「Safe Start (安全な開始)」宣言 20-25.4 で概説されている [L&I 職場の基本要件と防止の発案](#)に従って、次の COVID-19 作業現場特有の安全対策に準拠する必要があります。ワシントン州 Department of Health およびワシントン州 Department of Social and Health Services は、ワーカーのための安全ガイダンス文書を作成しました。

- [ワシントン州 Department of Health によるアットホームケアプロバイダーへの勧告](#)
- [COVID-19 アウトブレイク時に安全なケアを提供するための、ワシントン州 Department of Social and Health Services の個人医療プロバイダー \(IPS\) ガイダンス](#)

ホームケア機関やワシントン州などの管理機能を実行する雇用主または共同雇用者は、COVID-19 の要件とガイドラインに準拠して、次のようにしてワーカーを守る必要があります。

- ワーカーがコロナウイルスについて最もよく分かる言語で、伝染防止方法と雇用主の COVID-19 ポリシーを教えてください。
- 接触がある時、すべての従業員と顧客の間を可能な限り 6 フィートの距離を保ってください。特定のタスクで厳密な物理的距離をとることができない場合は、バリアの使用、狭い場所または閉鎖された場所では人員の最小化、休憩と作業シフトで時間差を持つなど、他の防止策を取ってください。
- 従業員の作業に必要とされる、手袋、ゴーグル、顔面シールド、フェイスマスクなどの個人用保護具（PPE）を無料で提供してください。詳細については、[コロナウイルスの顔面カバーおよびマスク要件](#)を参照してください。COVID 陽性または症候性のクライアントにケアを提供するホームケアワーカーは、「高リスク」状況にあると推定され、適切な PPE を支給してください。無症候性のクライアントにケアを提供しているホームケアワーカーは、「中リスク」のカテゴリにあると見なされ、状況に応じてサージカルマスク（外科マスク）、および必要に応じて追加の PPE を支給してください。さらに、ワーカーが単独で作業していない場合、またはコミュニティでの作業を行う場合は、雇用者は布地のマスク提供し、ワーカーは着ける義務があります。しかし、Department of Labor & Industries の安全衛生規則及びガイダンスに準拠し、さらに高いレベルの保護が必要と判断される場合はこの限りではありません。布製のマスクについては [Department of Health のガイダンス](#) をご覧ください。以下に例外を記載します。オフィス、車両、又は仕事場で他人と接触なく仕事ができる人、聴覚障害者又は難聴者、顔の表現や口の動きがコミュニケーションの一部でそのような手がかりを必要としている人とのコミュニケーションをしている人、健康疾患や障害があるためマスク着用が不適当な人、及び対面接触が無い仕事に従事している人。

雇用主は、COVID-19 の要件とガイドラインに従って、ワーカーを守る義務があります。以下にリストされた項目を含みます。個人消費者が雇用し、費用を DSHS に負担してもらっているホームケアワーカーの、選択、スケジュール、および監督はクライアントに託されます。これらの場合、DSHS は COVID の感染と拡散を防ぐ方法に関するガイダンスを発行します。

- 備品の適切な補充を行い、頻繁かつ正しい方法で手洗いを行ってください。共有されているツールやその他の者からウイルスの感染を防ぐために、安全で正しく、使い捨て手袋を使用してください。
- よく触れる表面を頻繁に洗浄し消毒することを実行してください。
- シフトの開始時に COVID-19 の兆候/症状について従業員とクライアントをスクリーニングしてください。ホームケアワーカーは、気分が悪くなったり、病気の気配がある場合は、家に留まるか、すぐに家に帰ってください。COVID-19 の感染が確認された従業員、又はその疑いがある従業員の作業場は、従業員が接触した表面等、エリアや器具が洗浄され消毒されるまで区分けし入場禁止として下さい。Centers for Disease Control(疾病コントロールセンター) が定めた Deep Cleaning (徹底洗浄)及び消毒の[クリーニングガイドライン](#)参照して下さい。
- 仕事の結果、COVID 陽性である個人とウイルスにさらされた可能性が確認されればただちにホームケアワーカーに通知して下さい。

ワーカーは、COVID-19 の危険がある環境では、安全を懸念して仕事を拒否する場合があります。自らの環境が安全でないと思うホームケアワーカーは、ソーシャルワーカーまたはエイジ

エンシーの監督者に連絡する必要があります。RCW 49.17 の対象となる雇用主が、仕事の拒否が特定の要件を満たしている場合に、法律に基づいて安全保護活動を行なったワーカーに対して不利な行動をとることは違法です。情報は以下の資料で入手できます：[職場での安全と健康の差別のパンフレット](#)と[スペイン語の安全と健康の差別のパンフレット](#)。

COVID-19のリスクを懸念し、安全を理由に職場から退去したワーカーは、特定の休暇または失業給付を申請出来る場合もあります。雇用主は、宣言20-46の対象となるリスクの高い個人に、代替の雇用対策がない場合、雇用者負担の有給休暇または失業給付へのアクセスの選択肢を提供する必要があります。他のワーカーは、家族第一コロナウイルス対応法に含まれる拡大家族休暇や医療休暇、失業手当、または状況に応じてその他の有給休暇を利用できる場合があります。追加情報は、[新規コロナウイルスアウトブレイク \(COVID-19\) リソース](#)および[ワシントン州Family Care Act](#)および[Families First Coronavirus Response Act](#) でご覧になれます。

### ホームケアワーカー

更に、ワーカーは：

1. 病気なら家に留まって下さい。COVID 陽性の疑いがある時、又は確認された場合、雇用主に通知して下さい。
2. COVID-19に掛かっている家族が自宅にいる場合は、監督者に知らせて下さい。COVID-19の家族がいる場合、ワーカーは州保険省によって確立された検疫/隔離の要件に従って下さい。
3. 仕事に行く前に、先に電話して介護をしている人に熱、咳、または息切れなどの症状が無い確認してください。あれば、サービスを遅らせることができるか、あるいはCOVID-19 アットホームケアガイダンス手帳に記載されている予防策に従うことができるかどうかを判断して下さい。
4. 可能な限り、家の中では自分と他の人との間に最低 6 フィートの間隔を維持してください。特定の作業で物理的な距離をとることができない場合は、布製のマスクや PPE の使用など、他の防止策を使用する必要があります。
5. シフトの開始時と終了時、食事の準備の前後、または体液と接触する前後に、頻繁に手を洗ってください。石鹸と水で少なくとも 20 秒間手を洗うか、少なくとも 60%のアルコールを含むアルコールベースの手指消毒剤を使用します。
6. 家の中の表面や物体にはできるだけ触れないでください。作業中は、頻繁に触れる表面を洗い流してください。

### 自宅でサービスを提供するためにホームケアワーカーを採用するクライアントとしての雇用主：

7. クライアントが自宅で検疫している、病気である、または COVID-19 関連の症状を発症している場合、ホームケアワーカーに通知して下さい。
8. ホームケアワーカーが病気になっている、または症状がある場合は、回復するまで仕事に来ないように指示して下さい。
9. ホームケアワーカーがいるときは頻繁に手を洗ってください。
10. 可能な場合はホームケアワーカーから少なくとも 6 フィートの距離を保ち、ワーカーの近くで過ごす時間を減らします。

### 職場ガイドライン

11. ホームケアサービスが提供されている間、マスクを着用できる人は、地域社会への感染のリスクを回避するために、少なくとも布製のマスクを着用して下さい。このような

人々は、全てのPPE要件に従うことを強く推奨します。在宅ワーカーが従事している間、可能なら世帯にいる人はワーカーから離れたエリアに移動し、ワーカーとの社会的距離を多くとって下さい。職場についている人の中で認知障害、発達障害、または機能障害がある従事者の中には、布製のマスクやPPEを着用することができず、強制も出来ない人もいます。

12. お互いの接触時間を短くしてください。バーチャルで重要な詳細について事実上話し合うことができない場合は、対面でのやり取りを短くし、会話中は6フィートの距離を維持してください。ホームケアを受けている人の中には、認知障害、発達障害、または機能障害が原因で、距離と時間の要件を遵守できない、又は強制出来ない場合があります。
13. ティッシュやゴミ箱は、職場や家庭でご用意ください。
14. ワーカーは安全を危惧する場合職場から離れる権利、およびこれらの環境では休暇や失業給付を取れる可能性があることを雇用者はワーカーに知らせなければなりません。
15. 在宅ワーカーが清掃や消毒などの追加のタスクの頻度が上がると予想される場合、合意書を作成し、ワーカーに対応する報酬を提供しなければなりません。
16. 現場のトレーニングはすべて、有給の時間帯に行う必要があります。
17. ワーカーが通勤する時は、可能なら、一車両に一人で通勤することを勧めます。
18. ワーカーが集合場所に集まり、社有車で移動する場合は、1台の車両を1人の乗務員に割り当て、車をシェアさせないでください。社有車又は複数の車両での移動は、[コロナウイルスの顔面カバーとマスクの要件](#)で説明されているように、乗員は車両の50%の容量とし社会的距離およびPPE要件に従って下さい。

該当する場合、労働者の安全と健康に関する問題は、L&I の Division of Occupational Safety and Health (DOSH)に基づく執行措置の対象となります。

- 雇用主は L&I の Division of Occupational Safety and Health (DOSH) に COVID-19 [予防アドバイスと支援](#)をリクエストできます。
- ワーカーの職場の安全と健康に関する苦情は、L&I DOSH 安全コールセンターに電話通知されるか (1-800-423-7233) または[1] [adag235@lni.wa.gov](mailto:adag235@lni.wa.gov) [2]へ電子メールをお送りください。(1-800-423-7233) 又は [adag235@lni.wa.gov](mailto:adag235@lni.wa.gov) に電子メールをお送りください。
- 契約の慣行準拠に関する一般的な質問は、州のビジネスレスポンスセンター <https://coronavirus.wa.gov/how-you-can-help/covid-19-business-and-worker-inquiries> にお問い合わせ下さい。
- 宣言 20-25 に関連する違反は、<https://bit.ly/covid-compliance> にアクセスしてお知らせください。